

令和 6 年 11 月 13 日
子ども・若者部保育課

(仮称) 世田谷区立南大蔵統合保育園施設整備方針について

1 主旨

令和 4 年度に策定し、区立保育園の再整備の方向性や対象園を示した『「区立保育園の今後のあり方」に基づく新たな再整備計画について』において、南大蔵保育園を改築のうえ、南大蔵保育園と大蔵保育園を統合した(仮称)南大蔵統合保育園(以下「統合園」という。)を整備することとしている。

この度、「今後の子ども政策の考え方(グランドビジョン)」及び「世田谷区公共施設等総合管理計画」を踏まえ、統合園の施設整備方針を取りまとめたので報告する。

2 整備方針の概要

(1) 基本的な考え方

①南大蔵保育園と大蔵保育園の統合

南大蔵保育園(築 50 年)及び大蔵保育園(築 59 年)の老朽化に対応する必要があることから、南大蔵保育園を改築のうえ、統合園を整備する。

②一時移転

改築中、南大蔵保育園は、一時的にふじみ保育園に移転する。

(その間、ふじみ保育園は、令和 9 年度末に閉園する用賀保育園分園に一時的に移転する。)

③跡地活用

統合後の大蔵保育園跡は、統合園を開設予定の令和 13 年度に築 66 年を迎え、また、調査の結果、長寿命化改修工事は不向きのため、解体のうえ子ども・子育て施策等、区の行政需要に合わせた活用を検討していく。

(2) 施設の概要

①整備地の概要

所在地	世田谷区大蔵 1 丁目 7 番 11 号
敷地面積	1,306 m ²
用途地域等	第一種中高層住居専用地域 / 容積率: 200%※ / 建ぺい率: 60% / 19m 第二種高度地区 / 準防火地域 (※接道道路幅員が 4m のため、容積率 160% となる)
建物概要	鉄筋コンクリート造 2 階建て / 延床面積: 599m ² 昭和 49 年建築(築 50 年)

②統合園の定員

0～5歳児のクラスで、122人を予定している。(人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
統合園	10	20	23	23	23	23	122

[参考：統合までの認可定員推移（予定）]

・南大蔵保育園 (人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
令和 7年4月	7	14	14	17	17	18	87
令和 8年4月	7	14	14	17	17	18	87
令和 9年4月	7	11	14	17	17	18	84
令和10年4月	0	11	11	17	17	18	74
令和11年4月	0	11	11	11	17	18	68
令和12年4月	0	11	11	11	11	18	62

※令和10～12年度はふじみ保育園へ仮移転(仮移転中は0歳児クラスでの受入れ停止)

・大蔵保育園 (人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
令和 7年4月	—	11	18	23	23	23	98
令和 8年4月	—	11	18	23	23	23	98
令和 9年4月	—	11	18	23	23	23	98
令和10年4月	—	11	12	23	23	23	92
令和11年4月	—	11	12	12	23	23	81
令和12年4月	—	11	12	12	12	23	70

③整備する建物の概要

(ア) 統合園の延床面積は、世田谷区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例等に基づき、定員122人に必要な保育室等を整備するため、必要な延床面積を約1,000㎡とする。

(イ) 世田谷区公共施設設計仕様書（保育園）に基づき、次のような諸室等の整備を想定している。

〔 0～5歳児各保育室、多目的室、遊戯室、園庭、事務室、調理室、
トイレ（乳幼児、大人用）、休憩室、更衣室、駐輪場等 〕

3 概算経費

(1) 概算事業費（設計費、建設工事費、解体費）

約9.3億円（四捨五入のため、内訳の計と一致しない。）

〈内訳〉設計費：約0.6億円

建築工事費：約8.0億円

解体工事費：約0.8億円

※概算事業費には、外構・植栽・遊具・園庭整備費及び駐輪場整備費等は含んでいないが、ZEB化にかかる工事費及び設計費を含んでいる。

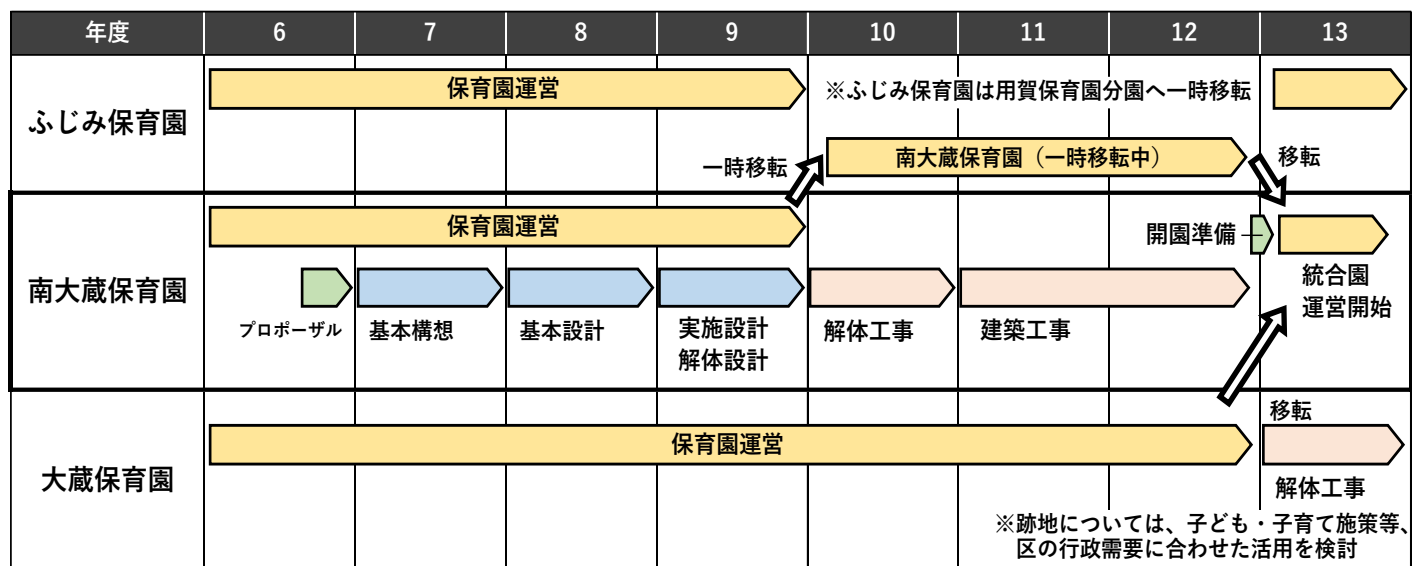
(2) 施設維持管理費

約640万円／年

※同規模の既存区立保育園を参考に、施設維持管理単価を抽出し、当該施設の延床面積を乗じて算出。

4 今後のスケジュール（予定）

令和6年11月	基本構想策定支援事業者選定プロポーザル公告
7年度	基本構想
8年度	基本設計
9年度	実施設計・旧園舎解体設計
10年度	旧園舎解体工事
11～12年度	建築工事
13年度	統合園運営開始、大蔵保育園解体工事



【参 考】施設の位置・現況概要

(1) 位置図



(2) 現況図（南大蔵保育園）

